

教科	芸術	学科	普通科	学年	2	年	選択科目
科目	音楽Ⅱ			単位数	2	単位	
使用教科書	音楽Ⅱ Tutti+(教育出版)			副教材	The Basics of Music 2訂版		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)							
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	○	協働力	○	論理的思考力		傾聴力	
	表現力	◎	判断力	○	考察力	○	情報活用能力	○
	基礎的読解力		創造力	○	洞察力		継続力	○
	自己管理能力		共感力	○	自己実現力		復元力(折れない心)	
学習の到達目標	・様々な音楽に触れ興味を持ち、曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解する。							
	・自己のイメージを持って音楽表現をし、創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。							
	・音楽を評価しながら、その良さや美しさを味わって聞く事ができる。							
	.							

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準	★4月～6月下旬までの学習内容		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚しそれらの働きを感じながら知覚した事との関わりについて考え、歌唱表現を工夫している	歌詞の内容、メッセージ、特性や曲にあった発声で歌うことに関心を持ち、主体的にまた他者と協力して学習活動に取り組もうとしている	
★何で評価するか ・小テスト ・実技試験	★何で評価するか ・ワークシート ・実技試験	★何で評価するか ・ワークシート ・単元振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	○オリエンテーション ○表現(歌唱) JPOP アニメの世界を思い浮かべて	・1年間の音楽Ⅱの学習について理解する。 ・親しみやすいJPOPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら2部合唱で歌い音楽Ⅱの学習意欲を養う ・アニメソングの曲想と音楽の構造や歌詞文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果など、幅広い視点で捉えて、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する ・お気に入りのアニメソングを紹介する
5	○楽典 楽譜と音符 音名と速度記号	
6	○表現(器楽) 和楽器の魅力に触れよう	・音色や奏法の特徴を感じ取ると共に、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して、音楽の表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。

★単元ごとの評価規準	★7月上旬～9月下旬までの学習内容			自己評価	実際評価
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度		観点	観点
創意工夫をいかした表現をするために必要な表現形態の特徴や、曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表すかについて表現意図をもっている。	正しい技能を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		① ② ③	① ② ③
★何で評価するか ・定期考査 ・実技試験	★何で評価するか ・定期考査 ・ワークシート	★何で評価するか ・ワークシート ・単元振り返りシート			
7	○表現(器楽) 和楽器の魅力に触れよう	・音色や奏法の特徴を感じ取ると共に、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して、音楽の表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。			

8	○鑑賞 状況を思い浮かべて演奏を聴こう	・「鉄道」を描いた音楽を聞き比べ、情景の移り変わり、旅人の心理の変化が吹奏楽でどのように描かれているか、オーケストラの響きと比較しながらイメージ豊かに聴く。
9	○前期期末考査 ○表現(歌唱) 諸外国の歌曲 ○楽典 発想記号や強弱記号	・諸外国の歌曲に触れ、言葉の特性に関心を持ち、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして表情豊かに歌う。 ・履修曲の演奏曲に関わる音楽記号などについて理解する。

★単元ごとの評価規準			★10月上旬～3月下旬までの学習内容			自己評価			実際評価		
①知識・技能			②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度			観点		
創意工夫をいかした表現をするために必要な表現形態の特徴や、曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、表している。			音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように表すかについて表現意図をもっている。			正しい技能を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			観点		
★何で評価するか			★何で評価するか			★何で評価するか			①	②	③
・定期考査 ・小テスト ・実技試験			・定期考査 ・ワークシート			・ワークシート ・考査前後の振り返りシート					
10	○表現(歌唱) 諸外国の歌曲 ○楽典 長音階と短音階		・諸外国の歌曲に触れ、言葉の特性に関心を持ち、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして表情豊かに歌うことができる。 ・履修曲の演奏曲に関わる音楽記号などについて理解する。								
11	○表現(器楽) リコーダーアンサンブルを楽しもう										
12	○表現(歌唱) ヴォイスアンサンブルを楽しもう										
1	○表現(器楽) ギターアンサンブルを楽しもう		・ギターの奏法を身に付け、高める。また、個人の興味に応じた教材を選択し、創意工夫しながらアンサンブル活動を楽しむ。 ・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。								
2	○表現(歌唱) 卒業式式歌の合唱 ○学年末考査										
3	○鑑賞 総合芸術における音楽の魅力										
			・オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合って発展してきたかを考える。								

★最終評価総括(自己評価／実際評価)						自己評価総括			実際評価総括		
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度		①	②	③	①	②	③
◎前期振り返り				◎後期振り返り				▶備考			